

貸借対照表

平成26年3月31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 遠藤 雅彦

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
【 I 流動資産】	【 170,998 】	【 I 流動負債】	【 209,444 】
現金・預金	170,760	短期借入金	0
未収入金	0	1年以内返済長期借入金	196,400
前払費用	0	未払金	0
繰延税金資産	238	未払費用	179
未収還付消費税	0	未払利息	7,064
		未払法人税等	1,346
		未払消費税等	4,268
		預り金	186
【 II 固定資産】	【 3,714,805 】	【 II 固定負債】	【 3,284,952 】
有形固定資産	(2,588,714)	長期借入金	3,279,900
建物及び設備	359,594	長期未払金	756
構築物	3,615,250	役員退職慰労引当金	4,296
機械・装置	46,245	その他の固定負債	
工具器具備品	575		
土地	10,503		
リース資産	1,036		
減価償却累計額	△ 1,444,490	負債の部合計	3,494,396
		純資産の部	
		【 I 株主資産】	【 391,406 】
無形固定資産	(1,126,090)	1. 資本金	400,000
電話加入権	72	2. 利益剰余金	△ 8,593
ソフトウェア	1,901	その他利益剰余金	△ 8,593
鉄道軌道連絡通行		繰越利益剰余金	△ 8,593
施設利用権	1,124,116		
投資等	(0)	【 II 評価・換算差額等】	【 0 】
		純資産の部合計	391,406
資産の部合計	3,885,803	負債・純資産の部合計	3,885,803

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株あたりの当期純利益 275円14銭

個別注記表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却方法
 - (1) 有形固定資産
定額法を採用しています。
 - (2) 無形固定資産
定額法を採用しています。
2. 引当金の計上基準
 - (1) 役員退職慰労引当金
役員の役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
4. リース取引の処理方法
 - (1) 平成23年度までのファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。
 - (2) 平成24年度以降のファイナンス・リース物件の所有権が借主に移転しないものについては、リース資産会計処理を行っております。
5. ヘッジ会計の方法
 - (1) ヘッジ会計の方法
金利スワップの特例処理を行っている。
 - (2) ヘッジ手段とヘッジ対象
当事業年度にヘッジ会計を適用した手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。
ヘッジ手段：金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段としております。
ヘッジ対象：長期借入金
 - (3) ヘッジ方針
 - ① 金融取引における将来の金利変動等によるリスクを回避する目的で行っております。
 - ② 金利スワップは実需の範囲内で行っており、投機的な取引は行わない方針であります。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 1, 444, 490千円
2. 関係会社に対する金銭債権・金銭債務
 - (1) 短期金銭債務 0千円

III. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	608千円
合計	608千円

IV. 関連当事者との取引に関する注記

1. 名称	日本貨物鉄道株式会社		
議決権割合			49%
取引内容	営業取引	営業収益	348,516千円
		営業外収益	0千円
		営業費用	1,123千円
		営業外費用	0千円

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、	48,925円77銭
2. 一株当たり当期純利益金額は	275円14銭

VI. 会計方針の変更

特記無し

VII. 当期純利益金額

2,201千円

以上

(注) V以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。